

**看護婦派出**  
の求めに應ず  
平町南町  
**平看護婦會**  
電話三〇七番

**食肉の好季**

一般の御家庭に幾分なりとも貢献致したい微意を持ちまして品質第一を商號とする弊店の食肉を是非御進め致します  
牛豚肉問屋  
**大塚吉藏商店**  
平町四丁目川岸通り

土木建築請負  
石炭販賣  
岩石材販賣  
(強勉大もれ何)

**喜多林之助**

平町月見町

**助手募集**

男子(十五歳ヨリ)各一名  
女子(十八歳マデ)各一名  
右至急募集す本人來談の事  
平町南町(電話四十七番)

**芹澤自動車部**

停留場 磐城銀行向

良品質に勝る商略なし

磐城セメント會社特約店

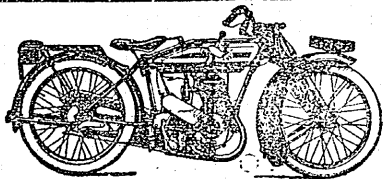
和洋銅鐵 釜屋商店  
金物問屋

磐城平町五丁目電話一九三九番

確實鐵は釜屋の生命なり

**外務員募集**

公債、債券高價に買入ます  
數名月收五拾圓以上希望者本人來談を乞ふ  
福島縣共榮無盡平代理店  
現物 賣買株式問屋  
**大谷保太郎**  
平町南町公會堂角電話三四四番



短くなつた日を長くして

「太陽は俗細工ぢやないから長く延すことは出来ません。唯オートバイ愛乗者は、それ天高く馬肥える候なれば、活動に油の乗る事も一入で短くなつた日も長々と使へるといふのです  
(御買入の御方には無料で教授いたします)

東北代理店

**織田商店**

自動自轉車部  
平町南町 電話五三二二

**モーター**

電氣機械器具各種材料販賣  
電燈電力工事設計並ニ請負  
製作ハ日立製作所  
販賣ハ磐城工業商會  
株式會社日立製作所特約店  
東京電氣株式會社特約店

モーター修理  
常磐電氣工業會  
平町南町  
電話一八八番  
會商業工城磐  
助治佐村中



刊夕日七十二月一十

定部金貳錢 廣五號十二休日  
一ヶ月廿錢 告字詰一行刊祝日  
價稅五厘 料五十錢 日  
發行所 常磐毎日新聞社  
電話六三〇番

發行兼編輯人 川崎文治  
印刷所 常磐毎日印刷所

**流行音樂の考察**  
家庭音樂の提唱

(四)

明石 恭

僕に決して洋樂を排し日本樂のみ日本に養つていふのではない。そんならつぽけな洋樂家が日本樂をけなす様な見解はないのだ、徒らに洋樂のその性質も知らずに流行に雷同して洋樂萬能を叫び日本樂を等閑に附して願ない愚か者を成可く多きさしたくない老婆心からだ、家庭音樂としては現在では日本樂器は至極適當

**種々 徳壽閣内藥局**  
寒暖計、電四〇番

淋病 婦人科  
包茎 專門  
疝門 院病村松  
部科外

柏傳の  
刺子染料  
徳用袋入

**徳用袋入**  
森永(煎)山城 百二十入 一圓五十錢  
六十入 七十五錢  
三十入 四十錢  
森永(茶)加ほる 百二十入 八十五錢  
七十入 五十五錢  
四十入 三十五錢  
森永(ほう)宇治 百二十入 八十五錢  
七十入 五十五錢  
四十入 三十五錢  
森永(じ)茶 百二十入 八十五錢  
七十入 五十五錢  
四十入 三十五錢  
森永(ほう)宇治 百二十入 八十五錢  
七十入 五十五錢  
四十入 三十五錢  
森永(じ)茶 百二十入 八十五錢  
七十入 五十五錢  
四十入 三十五錢

**富田眼科醫院**

**銀なべ**  
御入浴も御隨意です御散歩の折に是非従来同様御運び御風味の程を御願いたします  
牛豚 氷  
**石川亭**  
平町南町電話四十三番

**新製品特賣デー**  
十一月廿七日より 一週間  
▲特賣品ノ一部  
▽友仙モス 十五錢  
▽實用裏地 九十五錢  
▽ニッパノ新 一圓廿九錢  
▽模様名仙 一圓九十八錢  
▽着尺モスリン 三圓九十錢  
▽四圓五十錢より  
▽六圓九十錢まで  
▽錦紗小紋 十五圓八十錢  
▽友仙縮緬 十九圓八十錢  
▽丸帯 十圓五十錢より  
▽縮緬長襦袢 十五圓八十錢  
▲其他 製品豊富入荷  
**亀田屋呉服店**

日本樂の人々と提携して洋樂、和曲その浙東等の新開拓をしてつまたらぬ流行や悪弊を一掃して行かうではありまなか  
[をば]

一册の代金で御希望通りな五册の雑誌が自由に讀める  
**川崎文庫**  
電話六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

# 海岸拂下げ問題は 憲派の面よとした

## 硬骨の士が憤慨す 問題は益々白熱化

石城憲派の二三幹部が海岸地帯の拂下げを忍かに手續とした爲め地方の利権問題として波瀾を捲き起し問題視されて居る事は昨報の如くであるが、

「若し二三幹部が私利に眩惑し單獨で利権を掌握せんとし問題の種をまいたものであり且つ我黨天下を徒らに笠に着て地方民の利害を念頭に置かず此事を果さんとしたものであつたとすれば甚だ奇怪至極と云ふべしで同じく對派に屬する我々の面よよごの行動と云ふべく許すべからざるものであるからよく事の真相を確かめて近く開かへべき總會の問題にせねばならぬ」と憲政派内部にも此舉を始めて知つて憤慨して居る硬骨の士が多いから益々問題

# 時節柄極めて耳寄りな 流れ出す廿萬圓の話

## 各炭礦のボーナス 節季の難關も平氣で突破

今年も愈あど四五日師走が来る尤も師走とは云ひ條石城地方は永い間の習慣から舊曆のその様子が

師走氣分 が濃厚では無いが他地方同様此時季を以て大體一年中のさまりごさとしてゐるから平町を

の困難はあるものを單り磐城邊の大小こをはじめ常磐の各炭礦では何年このかた無配當を怪しまぬ迄になつた一部の會社を尻目につけて餘勢は更に正月の餅代と云つては當らぬ程だんまり賞與と云ふものを呉れて節季の地方一圓を露ぼす、先づ八分配當確實と見られてゐる磐城炭礦は炭炭合併直後ではあるが時節柄前回の

# 御馳走政策で 教科書を賣込む

## 出版屋の猛運動

各中等學校では使用する教科書が文部省の認定する範圍内で教師が自由に選擇し得る處から各書店や著作者は新學年に際し自家出版の料の賣込む爲縁故關係をたどり又は御馳走政略によつて全國的に運動を行つて居るが平町にも入込んだと云ふので其筋では御馳走政策の有無を調査中

# 内郷入營送別 石城



# 小ダイ島干

小鯛をウロコのみ、頭を去り腹を切つてワタを出しよく洗つて三枚におろします

# 常磐片々

石城憲派に内輪喧嘩が出来て未だ纏りもつかぬ内に今度は海岸拂下げの利権問題がバレて關係町村民から恨みの的となる

要するに泣き面に蜂とでも云ふのかね

石城憲政は僅かに比佐の一勝に依つて圖に乗り過ぎた観がある

未だ未だ是れからだ建設の前に破壤が肝甚、常に私利の前に眼の眩む様な不良分子を根底から叩き潰して

# 昨夜の 會大奏演

昨夜有聲座に開催された和洋音樂演奏會は非常な盛況にて聴衆は町の智識階級が大半を占め六曲展風をめぐらした舞台には本社及び加藤丈夫氏も奇贈になつた大花輪が異彩を放つて居た

明石恭氏のピアノ獨奏、植竹翁作歌「落花の響」は非常な喝采を博し琴曲では流石に斯道の大家上原眞佐喜氏の令嬢淳子嬢が鮮やかな手

さばきを見せて満場を恍惚たらしめ遠藤杉咲、田中ひで兩女史も多年鍛へた手練の程を充分に肯かして餘りなつた、尺八では小野靜重氏が可成りに光つて居た

# 防波堤燈台

小名濱の盛観 香坂前知事の文字を青銅に

浪の荒い日には岸壁に激する怒濤の飛沫に全身を洗はれ乍ら防波堤の突端に儼然として屹立してゐる鐵筋の燈臺は來月一日から放光される筈であるからまた小名濱築港の偉觀として輝く事であらうが、最近その放射窓のあたり一種の森嚴味を帯びた青銅の額が揚げられ初冬の夕陽に冷たく映發してゐる、これこそ前の知事緩愛姫の良二千石たる香坂昌康閣下の筆で筆力雄健なる遍照の二字深くまじり四邊の豪宕なる風物に好個の對象をなしてゐる横尺八寸縦八寸今後幾とせを雪虐風號雨に洗はれ風にさ

# 孝子美談は

## 毎夜大入り

目下平劇場にて上映中の「孝は總てを惠む」は平町で映寫した丈あつて非常なる人氣を博し毎夜大入りで同時に上場する時代劇「復活」も日活としては稀れな大作見る者をして涙をこぼらしめずには置かぬ悲劇物である爲め是又「黎明の郷」と共に非常な好評であるが愈々今晩がお名残り明日は晝間だけである

# 御降々の祝ひ

## 煙火を打揚ぐ

皇孫殿下御降誕の吉報は國民のひとしく赤誠を持つて御待ち申上ぐる所であるが平町にては御降誕の吉報あり次第三發の煙火を冲天に轟かして全町民に其喜び

# 玉川火防督勵

石城郡玉川村消防組にては廿三日から三日間小頭總出にて各戸の竈場検査を爲し火防督勵に努めた

# 營業稅調查

## 愈よ開始さる

平稅務署では一昨廿五日より管内各驛及運送業者に就き貨物出入の調査を開始したが來月上旬には一部營業者に就き大體の基準調査を爲すと云ふが昨今の時節柄として銀行業は除き大部分は十四年度分から若干の減額を豫想されてゐる、因に十四年度分は納稅人員千八百九十八人稅額七萬四千八百九圓である